

平成20年度 科学研究費補助金（特別推進研究）
事後評価結果

研究課題名	知識基盤形成のための大規模半構造データからの超高速パターン発見	研究代表者名 (所属・職)	有村 博紀（北海道大学・大学院 情報科学研究科・教授）
-------	---------------------------------	------------------	--------------------------------

研究課題の総合的な評価

該当欄		評価基準
	A+	期待以上の研究の進展があった
○	A	期待どおり研究が進展した
	B	期待したほどではなかったが一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い

評価意見

インターネット上の膨大なデータ源から有用な情報・知識を取り出す問題のためには超高速なパターン発見法が必須であり、その開発は極めて重要な課題となっている。本研究課題は、経験則に基づくアルゴリズムが多い現状において、理論の裏付けに基づく超高速パターン発見アルゴリズムを次々に開発し、同分野への大きな貢献をした。

このように、本研究課題が日本から世界に向けての優れた学術成果の発信に大きく貢献し、特別推進研究として相応しい成果を挙げたことは高く評価される。